平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	第二外国語1(中国語)(Chinese1)			授業コード	A030001
担当教員名	徐　倫			科目ナンバリングコード	A20312
配当学年	カリキュラムにより異なります。	開講期	前期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	三分の二以上出席しなければ受験資格を喪失するので、注意して下さい。				
受講心得	新しい言葉の習得は授業に出て、一緒に発音し矯正してもらうのが一番の近道です、だから毎回きちんと出席してほしいです。出欠は厳しくチェックします。定期試験以外に課題練習のプリントの提出も重要です。				
教科書	1冊目の中国語				
参考文献及び指定図書	日中辞典、中日辞典				
関連科目					

授業の目的	ここ十年あまりの間、日本における中国語学習者数は大きく増減を繰り返しています。これは経済のみならず、様々な日中間の問題が関わっており、日中の関係の緊密さを切実に物語っているものです。現在学習者数が減っている中国語学習の需要に対して柔軟に対応し、その需要に応えられるに、それぞれの目的ー第二外国語の中国語が少しでも多く話せるように、使えるように中国語を勉強するのが授業の目的です。
授業の概要	「言語」を勉強するには、その言語と繋がるその民族の文化、民俗、習慣等を知ってもらわなければならない、理解してもらわなければならないです。中国は世界総人口の4分の1に相当し、地球で中国語を使用する人々は4人の中に1人の割合になります。中国語学習の目標を中国で使われる『標準語』の把握と日常会話を学びことに置きます。中国語の講義をしながら中国の文化事情、民俗風習などを紹介し、受講生の中国に対する関心と理解を深めさせます。 第2外国語2(中国語)では、中国語の日常会話について反復練習を行い、文法の要点も合わせて修得します。ある程度の基本の日常会話、簡単な自己紹介ができるようにするのが目標です。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : 前期試験の内容について模範解答を行い、解説します。 漢字の読み方、声調のつけ方、簡体字の書き方、文法などを例挙して解説します。 前期の内容を復習します。	中国語の教科書(前期と同じ)を用意してください。 前期の内容を復習してください。
第 2 週 : 文法　(第7課　京劇を見る) まず発音の練習を行い、新出単語を学び、意味を理解し、本文の内容を説明します。 次に文法について勉強します。「完了」を表わす“了”、前置詞“?”などの使い方、「連動文」の文型、時を表す言葉等、例を挙げて説明します。 最後に練習を行います。	予習:第7課の内容をチェックし、CDを聞いてください。 復習:第7課の文法を理解し、習った内容を繰り返して練習すること。返した第6課のプリントの間違いを必ず訂正してください。

第 3 週： 本文 （第7課　京劇を見る） 　まず発音の練習を行います。次に本文に取り上げた基本文型、語句を学び、練習を行います。 　それからCDの発音練習を聞き、課題を完成します。 　最後に用意した聴解、発音、翻訳などの練習用プリントを小テストの形で完成し提出してもらいます。	予習：習った文法を使い、第7課の本文を翻訳してみてください。分からないところをマークし質問を用意すること。 複習：第7課全て理解し、CDを繰り返して聞く、声出してを読むこと。
第 4 週： 文法 （第8課　ファーストフード店で昼食） 　まず発音の練習を行い、新出単語を学び、意味を理解し、本文の内容を説明します。 　次に文法について勉強します。「変化」を表わす“了”、「存在」を表わす“有”、前置詞“在”などの使い方、例を挙げて説明します。 　最後に練習行います。	予習：第8課の内容をチェックし、CDを聞いてください。 復習：第8課の文法を理解し、習った内容を繰り返して練習すること。返した第7課のプリントの間違いを必ず訂正してください。
第 5 週： 本文 （第8課　ファーストフードで昼食） 　まず発音の練習を行います。次に本文に取り上げた基本文型、語句を学び、練習を行います。 　それからCDの発音練習を聞き、課題を完成します。 　最後に用意した聴解、発音、翻訳などの練習用プリントを小テストの形で完成し提出してもらいます。	予習：習った文法を使い、第8課の本文を翻訳してみてください。分からないところをマークし質問を用意すること。 復習：第8課全て理解し、CDを繰り返して聞く、声出してを読むこと。
第 6 週： 文法 （第9課　カラオケ店で） 　まず発音の練習を行います。次に本文に取り上げた基本文型、語句を学び、練習を行います。 　次に文法について勉強します。助動詞“可以”、“会”、“能”の使い方、第三者に伝える言葉の言い方“直接の言い方”、“間接の言い方”、授受関係の前置詞“?”の使い方など、例を挙げて説明します。 　最後に練習を行います。	予習：第9課の内容をチェックし、CDを聞いてください。 復習：第9課の文法を理解し、習った内容を繰り返して練習すること。返した第8課のプリントの間違いを必ず訂正してください。
第 7 週： 本文 （第9課　カラオケ店で） 　まず発音の練習を行います。次に本文に取り上げた基本文型、語句を学び、練習を行います。 　それからCDの発音練習を聞き、課題を完成します。 　最後に用意した聴解、発音、翻訳などの練習用プリントを小テストの形で完成し提出してもらいます。	予習：習った文法を使い、第9課の本文を翻訳してみてください。分からないところをマークし質問を用意すること。 復習：第9課全て理解し、CDを繰り返して聞く、声出してを読むこと。
第 8 週： 文法 （第10課　万里の長城に登る） 　まず発音の練習を行います。次に本文に取り上げた基本文型、語句を学び、練習を行います。 　次に文法について勉強します。「時刻」の言い方、「経験」を表わす“?”、動作の回数を表わす言い方、方法補語など、例を挙げて説明します 　最後に練習を行います。	予習：第10課の内容をチェックし、CDを聞いてください。 復習：第10課の文法を理解し、習った内容を繰り返して練習すること。返した第9課のプリントの間違いを必ず訂正してください。

第 9 週： 本文 （第10課　万里の長城に登る） 　まず発音の練習を行います。次に本文に取り上げた基本文型、語句を学び、練習を行います。 　それからCDの発音練習を聞き、課題を完成します。 　最後に用意した聴解、発音、翻訳などの練習用プリントを小テストの形で完成し提出してもらいます。	予習：習った文法を使い、第10課の本文を翻訳してみてください。分からないところをマークし質問を用意すること。 復習：第10課全て理解し、CDを繰り返して聞く、声出してを読むこと。
第10週： 文法 （第11課　診察を受ける） 　まず発音の練習を行います。次に本文に取り上げた基本文型、語句を学び、練習を行います。 　次に文法について勉強します。「少し～だ」の表す言葉“有点儿”、「～したのだ」を表す文型“是・・・的”などの表現及び比較の表現等、例を挙げて説明します 　最後に練習を行います。	予習：第11課の内容をチェックし、CDを聞いてください。 復習：第11課の文法を理解し、習った内容を繰り返して練習すること。返した第10課のプリントの間違いを必ず訂正してください。
第11週： 本文 （第11課　診察を受ける） 　まず発音の練習を行います。次に本文に取り上げた基本文型、語句を学び、練習を行います。 　次に文法について勉強します。助動詞「想」、動詞「喜?」、動詞の重ね型、選択疑問文など使い方を例挙して説明します。 　最後に練習を行います。	予習：習った文法を使い、第11課の本文を翻訳してみてください。分からないところをマークし質問を用意すること。 復習：第11課全て理解し、CDを繰り返して聞く、声出してを読むこと。
第12週： 文法 （第12課　タクシーに乗る） 　まず発音の練習を行います。次に本文に取り上げた基本文型、語句を学び、練習を行います。 　次に文法について勉強します。“把”の構文、結果補語「～から・・・まで」を表す文型“从・・・到”、2つの目的語を持つ動詞の使い方、時間の長さの言い方など、例を挙げて説明します 　最後に練習を行います。	予習：第12課の内容をチェックし、CDを聞いてください。 復習：第12課の文法を理解し、習った内容を繰り返して練習すること。返した第11課のプリントの間違いを必ず訂正してください。
第13週： 本文 （第12課　タクシーに乗る） 　まず発音の練習を行います。次に本文に取り上げた基本文型、語句を学び、練習を行います。 　それからCDの発音練習を聞き、課題を完成します。 　最後に用意した聴解、発音、翻訳などの練習用プリントを小テストの形で完成し提出してもらいます。	予習：習った文法を使い、第12課の本文を翻訳してみてください。分からないところをマークし質問を用意すること。 復習：第12課全て理解し、CDを繰り返して聞く、声出してを読むこと。
第14週： 文法 （第13課　修理を頼む） 　まず発音の練習を行います。次に本文に取り上げた基本文型、語句を学び、練習を行います。 　次に文法について勉強します。疑問詞“怎?”、使役動詞“?・叫”の使い方、各種番号の言い方、年・月・日の言い方など、例を挙げて説明します 　最後に練習を行います。	予習：第13課の内容をチェックし、CDを聞いてください。 復習：第13課の文法を理解し、習った内容を繰り返して練習すること。返した第12課のプリントの間違いを必ず訂正してください。
第15週：	

本文 （第13課　修理を頼む　期末試） 　まず発音の練習を行います。次に本文に取り上げた基本文型、語句を学び、練習を行います。 　それからCDの発音練習を聞き、課題を完成します。 また、用意した聴解、発音、翻訳などの練習用プリントを小テストの形で完成し提出してもらいます。 　最後、自己紹介 　今まで覚えた単語、文法を活用して、自己紹介ができるように演習します。 　一年の授業内容を総括して復習します。学生からの質問をまとめて解説します。	予習：習った文法を使い、第13課の本文を翻訳してみてください。分からないところをマークし質問を用意すること。 復習：第13課全て理解し、CDを繰り返して聞く、声出してを読むこと。　総復習：第7課～第13課の文法と本文をしっかり理解し配った全ての練習プリントをもう一度練習する。期末試験の準備をきちんとすること。
第16週： 期末試験 期末試験	期末試験

授業の運営方法	（1）授業の形式	
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	中国という国にまた中国の文化、歴史に対する関心をもつこと
【知識・理解】	努力して知識を身に着け、理解すること
【技能・表現・コミュニケーション】	簡単な日常会話ができる、使えるようにすること
【思考・判断・創造】	

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	**10点**	**5点**		
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**50点**	**5点**		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	**10点**	**5点**		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	**10点**	**5点**		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	